



おもとくにみつ
大本邦光議員

共生社会への 環境整備は

議員 就労を目的に来日する外国人の場合、留学生とは異なり、日本語学校等で日本語や日本文化について学ぶといった、日本社会への適応のための準備期間を経験せずに、来日直後から仕事を中心とした生活を送る現状での、本市における国籍・地域別、在留資格別外国人数と推移をたずねる。

市長 平成31年は、外国人住民の数は477人で、中国168人、ベトナム149人、インドネシア56人。地域別では、アジア地域が455人、南米地域11人、北米地域9人。在留資格は、技能実習者278人、永住者79人、特定活動48人。外国人人口は、5年前と比較し、173人増加している。

議員 外国人の学習機会を広げる



ための教員養成、地域の教室を支援する取組みをたずねる。

市長 国際交流協会等の関係団体にも協力を依頼し、外国語支援員等の人材を確保すること、さらに支援員等を対象にした研修会を実施し、引き続き状況に合わせながら、日本語学習の機会を提供できるように努める。

幼保無償化を問う

議員 無償化の手續きに対し、保護者が子どもを安心して預けられるよう万全の準備を進め、新制度を混乱なくスタートできるのか。

こども部長 万全な態勢をとって進めており、手続きが不要な園については、チラシ等、広報で周知する。民間の施設については、積極的に足を運んで抜かりなく取り組む。



ひがしかわさぶろう
東川三郎議員

公金の取り扱いを問う

議員 笠岡東公民館で2年前、運営費83万8235円が紛失する事態があった。お金が無くなった時点で、すぐに警察に紛失届を出さなかったのか。

教育長 5月の連休明けに報告を受けた。なぜ警察へ紛失届を出さなかったのかはわからない。教育委員会への報告が遅れたことについては、認識が甘かったとの説明を受けた。

議員 各年度の決算では通帳と決算書が合致しないと思うが、どのような決算がなされたのか。また、監査はどうしたのか。

教育長 理由は不明だが、決算・監査は行われていないようである。



笠岡市の小中学校における いじめの現状は

議員 笠岡市の小中学校におけるいじめの現状をたずねる。

教育長 認知件数は、小学校37件、中学校34件。うち2件がパソコンや携帯電話等での誹謗中傷である。認知件数は年々増加傾向であり、複雑化している傾向もある。

議員 いじめの早期発見のために、アンケートや個人ノートを活用、またホームルームの時間にワークシヨップ方式でいじめ問題を取り上げてみるのはどうか。

教育長 定期的にアンケートを実施したり、面接を行ったりしている。いじめられている児童・生徒の立場に立ち、子どもの悩みを親身になって受け止め、子どもに寄り添うよう各学校に指導している。